



# 働き方改革 ~作業所での週休2日定着に向けて~

## 平成30年度伊万里港(七ツ島地区)道路(橋梁下部工)工事

【工事場所】佐賀県伊万里市 【工期】平成30年7月13日~令和元年9月30日(15ヶ月) 【発注者】国土交通省九州地方整備局



統括所長  
下村 泰史

### 週休2日を取得するための工夫

計画工程を立案する際、いろいろな問題を想定し、着手前に解決できるように発注者・協力業者と詳細な協議、打合せを行っています。作業においては作業効率の低下を補てんするため、作業員の体調を考慮し、近隣への影響がない範囲で早出・残業を行いました。書類作成業務については、早出・残業をすることで足りない時間をカバーしました。

有意義な  
休日の  
過ごし方

子供(中学生)がクラブ活動でサッカーをしているため、休日に試合があるときは、家内と応援に行ったりしています。休日が1日しかない、帰省するだけで終わってしまいがちですが、連休を利用することで家族と過ごす時間が増えました。



監理技術者  
片山 幸明

### 週休2日を取得するための工夫

土曜日に仕事をしないように、平日の業務を工夫しています。どの現場も同じですが、より工事が円滑に進むように作業をイメージし、職長や先輩と相談しながら現場を運営するように心掛けています。また、内業をする時間を確保するため、交代で事務所に帰るように工夫しました。今後はさらに時短を推進するため、便利なソフトを積極的に取り入れていきたいです。

有意義な  
休日の  
過ごし方

転勤が多いので、赴任先を観光することが趣味になっています。先日は唐津市の鏡山へドライブしてきました。(後ろに写っているのは虹の松原です) 連休が取れるため、地元の友達と会う機会も増えました。安心して深酒できるのも、連休が取得できる醍醐味だと思います。



担当技術者  
新本 哲也

### 週休2日を取得するための工夫

日中でも時間があるときは内業をするように心掛けています。また、明日やるべきことを明確にし、それに向けた準備を最優先にすることで、平日も残業時間をできるだけ減らすように工夫しています。作業所内でのコミュニケーションが取りやすく、仕事がしやすい環境のため、今までよくしていた「付き合ひ残業」がなくなりました。これからも仕事がしやすい雰囲気作りを心掛けていきたいと思っています。

有意義な  
休日の  
過ごし方

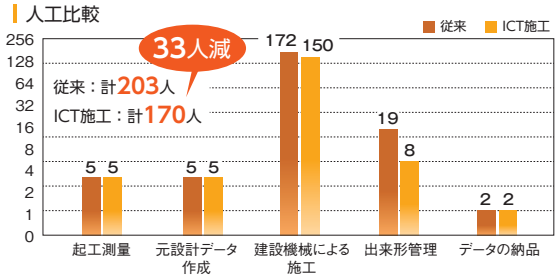
家族で出かける機会が増えたように思います。幼い娘とデートする時間はとても貴重だと改めて感じました。これからも家族との時間を大切に、皆さんの思い出を作りたいと思います。



## H30荒川左岸堀切地区浚渫工事

### 週休2日制モデル工事

浚渫土砂は、現場から約60km離れた横須賀港まで海上運搬する必要があるため、天候(特に風)により海上運搬できない日が週に1~2度ほど想定されました。そのため、工程管理は海上運搬を最優先とし、強風予報時は予め週2日、休工日とすることで4週8休を達成することができました。



有意義な  
休日の  
過ごし方

連休を利用し平塚の実家に帰省しました。まだ1才5ヶ月の息子はシャボン玉にも興味津々です。祖父母にも孫の顔を見せることができ有意義な時間を過ごせました。



現場代理人  
宮田 正昭

## 平成30年度 138号BP須走地区北道路建設工事

### 週休2日を取得するための工夫

地盤改良工でパワーブレンダー工法が採用されていましたが、機械や人員の空きが少なく施工時期に制約があるため、特殊な機械を使用しないで施工可能な安定処理工法に設計変更しました。これにより、プラント設置や重建設機械の搬入組立解体に係る工程を短縮し、施工時期の制約を受けることなく工程管理できました。

作業所長 越智 聖剛

作業終了後に行っていた補強土壁の進捗管理図表作成や材料搬入記録などを、現場にいる間にiPadを用いて、時間の有効活用を積極的に行いました。また、一人で補強土壁の位置だしや確認作業をできるように工夫しました。

現場代理人 榊原 宏明

有意義な  
休日の  
過ごし方

子供が生まれて2か月が経ちました。現場事務所から自宅までは約30km。毎日子育てに奮闘している家内に、休日くらいはゆっくりしてもらえるよう率先して家事育児を頑張っています。



現場代理人  
榊原 宏明

## 平成30年度河津下田道路河津ICランプ橋西下部工事

### 週休2日を取得するための工夫

今回の工事は発注者指定型であり、完全週休2日です。作業員は、遠方より宿泊で来ているので、休みが2日しか無いと移動であまり休みが取れません。

そこで各週で金曜日を休みにして3連休にし、翌週は土曜日でも作業するように工夫しています。

有意義な  
休日の  
過ごし方

現在単身赴任中のため、休日は帰省し、小学6年生になる娘のソフトボール練習に汗を流しています。



統括所長  
角田 哲也

## 「働き方改革」推進への取り組み

### いきいき職場の創造

社員が心身ともに元気で、いきいきと個々の能力を発揮し、効率的に、楽しく働ける職場環境の整備を目指し、会社・労働組合・健康保険組合が協調して、「働き方改革」の実現を目指し活動しています。具体的には、育児・介護のための休業制度や、有給休暇取得の積極的促進、週末2日の実現に向けた環境整備、ICT活用による業務の効率化、社員の心身の健康サポートなど、ワークライフバランスを促進し、働きやすく、働きがいのある職場環境づくりに努めています。

また、新入社員の集合教育や、公的資格取得奨励の実施、自己申告制度、目標管理制度など、会社は社員ひとりひとりの適性や、家族の事情に配慮し、安心して、意欲を持って仕事に取り組める仕組みを整備しています。



社員の語らい

### 障がい者の雇用と活躍

障がいをもつ方が、障がいのない方と同じ職場で、その能力と適性に応じて活躍できることをめざし、働きやすい環境を整え、障がい者の雇用促進をはかっています。

2019年6月時点で、障がい者雇用率は2.88%（法定雇用率2.2%）です。

#### 仕事と、子育て・介護の両立を支援する

仕事と子育て・介護の両立が可能な職場は、社員が安心して個々の能力を最大限に発揮でき、仕事の効率を高めることができると考えます。

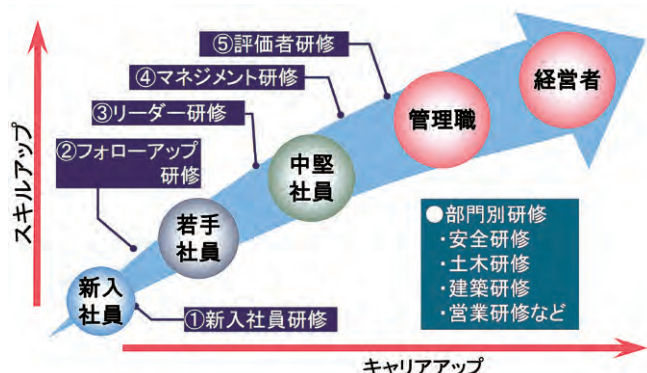
また、ワークライフバランスをより進めることで、「生活の質の向上」と、「仕事の高効率化」の両立をはかっていきたいと考えます。



当社は、次世代育成支援対策推進法に基づき、2017年に東京労働局より基準適合一般事業主認定を受け、次世代認定マーク「くるみん」を取得しています

## わかちく社員教育プロジェクト『はぐくみ』

個々の社員が日々目標を持って業務に従事し、成長しながらキャリアを築いていけるよう、わかちく社員教育プロジェクト『はぐくみ』を立ち上げました。効果的な社員教育により若手社員の持続的な成長を促すため、以下の項目を実施します。



キャリアパスと研修ロードマップ

### 1. 明確なキャリアプランの提示

従来、現場技術者に対してのみ設定していた階層別の必要スキルを、職種別で明確にします。あわせて会社が期待するキャリアパスも提示することで、スキルアップへの意欲を高め自律的な成長を促します。

### 2. 階層別研修、部門別研修の充実

若手社員の前向きな意欲に応えられるよう、キャリアパスを踏まえた体系的かつ効率的な階層別研修を計画し、研修ロードマップを示します。働き方が多様化していることを踏まえ、様々なキャリアに対応した部門別研修も実施します。

### 3. クラウド型教育システムの導入

全国各地の現場職員に効率的な教育が実施できるよう、クラウドシステムを利用した教育システムを導入しました。実際に、一級土木施工管理技士試験の合格率が向上するなど成果が上がっています。

## 健康の増進

社員とその家族の幸せと、活力ある職場づくりには、心身ともに健康であることが重要であると考えます。そのために当社は、若築建設健康保険組合と協力して、様々な健康増進策に取り組んでいます。

若築建設健康保険組合では、病気の早期発見・早期治療に役立つ特定健診や、健康増進に役立つ特定保健指導を実施し、人間ドック補助金支給、インフルエンザ予防接種補助金支給などを行っています。また、積極的な健康増進のために、ウォーキング大会、体育奨励事業など、社員とその家族のための様々な健康づくりを支援しています。

メンタルヘルスにつきましても、医師や専門家によるカウンセリング体制を整えて、社員とその家族のメンタルヘルスの増進と、心の問題への早期対応に努めています。



PepUpの画面

また、個人向けの健康情報のマイページ「PepUp(ペップアップ)」を公開し、個人の健康状態に合わせた情報配信を主に行っています。

総務人事部では、ストレスチェック制度を実施しています。これにより、メンタル疾患の発生を未然に防ぎ、ストレスの高い部門については、仕事の質と量に見合った人員配置を行い、職場環境の改善、長時間労働等を是正し、働きやすい職場づくりを目指しています。



ウォーキング大会

## 若築建設労働組合

今年度の労働組合のスローガンは「結 志(ゆうし)～ 組合員一人一人の知恵と力を集結させ、働きがいのある職場環境づくりに邁進する～」を掲げて、働きがいのある職場環境の実現に向け、より魅力的な会社となるよう組合として努めています。その重点活動内容は、①安定した生活の維持のための賃金交渉 ②働きがい向上のための待遇改善 ③仕事と生活の調和(ワークライフバランス)を実現するため、休暇取得促進、時短、メンタルヘルスケアの促進 ④会社側と意見交換・情報伝達の機会を増やし、現状の相互理解・把握に努め労使にて共通認識を持つと共に、業務改善に向けた積極的な提案の実施 ⑤同業他社労働組合と、労働条件の改善に向けた情報交換の実施 ⑥人的交流を活発にするために、支部の枠を越えたレクリエーション活動や組合研修の開催、等です。

積極的な労働組合活動により、会社に対し、「働き方改革」に資する積極的な提言を行い、社員全員が働きやすく、モチベーションを維持できる職場環境づくりに努めて参ります。



労使懇談会



技術研究所にて



ソフトボール大会



# 担い手確保の取り組み

## インターンシップ

当社では、大学生・大学院生・高等専門学校生を対象としたインターンシップを、全国各地の現場において実施しています。2018年8月～9月には、約35名の学生が就業体験を行いました。

当社のインターンシップを志望した学生は、「海洋土木工事に興味があった」「施工管理の仕事はイメージしにくい」「女性が活躍している現場を体験したい」などを理由にあげた方が多数いました。

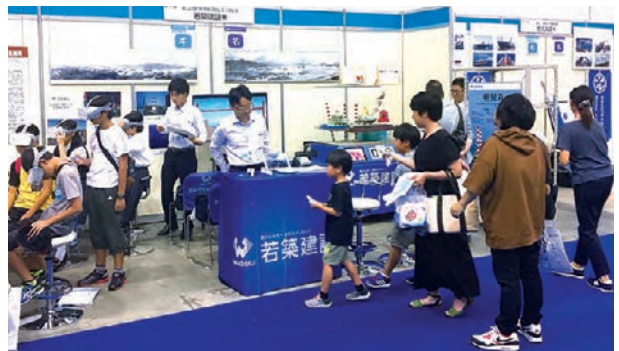
就業体験を終えた学生からは、「将来は必ず施工管理の仕事がしたい」と感想をいただきました。



## 北九州ゆめみらいワーク2019へ出展

「北九州ゆめみらいワーク」は、早い段階から仕事や進学について考え、地元の魅力を知るイベントとして多くの地元企業や大学などが出展し、職業体験や社会人との交流などを通じて、若者の職業観の醸成や地元企業・大学等などへの理解促進、将来の地元就職につなげることを目指す、キャリア教育イベントです。

当社では、2019年8月23日～24日に開催されました北九州ゆめみらいワーク2019へ出展し、建設業の魅力をアピールしました。



### 出展内容

- ①当社のグラブ浚渫船「若鷲丸」の模型を展示し、浚渫とは何かを体験してもらいました。
- ②当社のグラブ浚渫船「若鷲丸」のビデオを上映し、船に搭載されている技術を紹介しました。
- ③創業時の洞海湾開発について、パネル・写真などを使用して説明しました。
- ④当社の工事現場をVR（バーチャルリアリティ）で再現して仮想体験してもらいました。

